



看護学科

大都市東京の第一線で 看護を担う

看護学は医学、生物学などの近接領域の基礎的な知識を基盤として、病気や障がいを抱えた人々の身体的・精神的・社会的な課題を理解し、根拠に基づいて支援することを探究する学問です。本学では、思考力を鍛え、専門的な技術や判断力、倫理的な感受性を身に付け、病院や地域で社会からの要求や期待に応えられる専門家となる人材を育成します。



3つの特色

1

高い国家試験合格率

知識や技術の習得はもちろん「考える力」を育みます。

2

実践重視の教育

人々の健康のためにさまざまな場所や立場で貢献できる「実践力」を鍛えます。

3

国際交流の機会

海外留学や交換留学生との交流のチャンスを通じて「国際的な視野」を獲得します。

●取得可能な資格・免許

☑ 学士（看護学）

☑ 看護師・保健師 * 国家試験受験資格

* 保健師教育課程履修者のみ（選抜制）

看護師の免許を取得したのちは、助産学専攻科や大学院への進学により助産師や専門看護師を目指すことができます。

●看護師の仕事

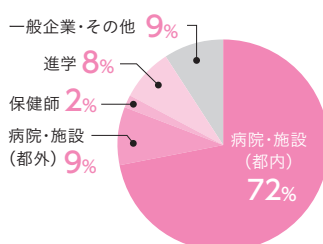
看護師は、乳幼児から高齢者まで、あらゆる成長発達段階にある人を対象とし、病気や障がいがあってもその人らしく健康的な生活ができるよう支援する仕事です。また、病気や障がいになる前や重症化を予防するためにかかわったり、家族やパートナーなど関係する人々に対する支援を行ったりします。

●国家試験合格状況（2024年実施）

資格名	受験者	合格者	合格率	全国※
看護師	79名	78名	98.7%	90.1%
保健師	21名	21名	100%	94.0%
助産師	10名	10名	100%	98.9%

※既卒者を含む

●進路情報（2024年実績）



●主な進路先

都立墨東病院、都立駒込病院、都立荏原病院、都立小児総合医療センター、国立国際医療センター、さいたま市立病院、東京大学医学部附属病院、東京科学大学病院、聖路加国際病院、千葉大学医学部附属病院、荒川区役所、東京都立大学 助産学専攻科

●大学院進学後の主な進路先

都立小児総合医療センター、川崎市役所、東京都立大学（教員）、上智大学（教員）、東京都立大学大学院

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
医療人である前に 人として教養を深める 大切な1年	看護の専門的な知識・ 技術に関する学習が 本格的にスタート	これまでの学びをもとに 臨床の場で実践を通して さらなる学習を	4年間の総まとめを行い 医療人としての スタートラインを目指す
南大沢キャンパスで多彩な学 問に触れ、看護を学ぶ基礎を 作ります。	荒川キャンパスでさまざまな 対象に対する看護の講義・演 習を行います。	対象者はもちろん、家族や多 職種など多くの関係の中で実 践的に学びます。	総合臨床看護学実習、卒業研 究を通して、自ら考え実践する 力を養います。保健師教育課 程履修者は、公衆衛生看護学 の講義と実習を行います。

授業紹介

3年次

小児看護学演習

山本 美智代 教授

子どもと家族の未来のために、
小児看護の礎を築く

子どもと家族を大切に思い、確かな知識と
技術を持って看護できることを目指し、医師、
保育士、時には子どもと母親を先生にお迎
えし、授業を行います。

4年次

看護倫理学

習田 明裕 教授

「生きることに寄り添い支える」
看護の原点を学ぶ

看護は対象者の人権や尊厳、個々の価値
観に根差したケアを提供するだけに悩み葛
藤を抱えます。看護倫理はケアを方向づけ、
力を与えてくれる学問です。

4年次

災害看護学

小野 若菜子 教授

そのとき、わたしにできること、
あなたにできること

災害看護は、全ての人を対象としています。
災害が起こった直後から支援できる看護の
基礎知識、地区の災害対策を知り、今、私
たちができるところにトライします。



PickUp 授業

ヘルスアセスメント論・ ヘルスアセスメント演習

習田 明裕 教授

患者から出されるさまざまな情報を キャッチできる能力の育成

看護は患者の身体にどのようなことが生じているかを理解した上で、様々なケアを提供する専門職です。検査値や画像の結果も重要ですが、患者から発信される様々な情報から判断することが、今後居宅で療養する患者をケアする看護に求められる能力です。具体的には、表出されることば（問診）や目で見た反応や変化（視診）、出される音（聴診）、打ってわかる音（打診）、触れてわかること（触診）などです。こうした身体を診る技術であるフィジカルアセスメント能力を獲得し、さらに心理的・社会的な側面も含めたヘルスアセスメント能力を育てることが本科目の目的です。そのためお互いの身体を用いて健康な身体の構造を徹底的に理解する学内演習や、モデル人形を活用したシミュレーション教育を行っています。

学びの主な領域と課程

看護学科では、看護の基本を学ぶ「基礎看護学」、人の成長発達段階ごとの看護を学ぶ「母性看護学」「小児看護学」「成人看護学」「高齢者看護学」、身体疾患の看護とは異なる専門性をもつ「精神看護学」、入院患者ではなく生活者への看護である「在宅看護学」、さらには「国際看護学」や「公衆衛生看護学」など、幅広く多彩な切り口で看護を学びます。



高齢者看護学 小野 若菜子 教授

これからは、
私たちが「生きる」ことを支える

日本の高齢化に伴う看護の課題は、いかに「その人らしく生き生きと過ごす」ことを支援できるかです。高齢者看護学では、「健康に過ごす」ことを理解する方法として人型シミュレータを用いながら、「知識」を「実践」に活かすことができるように学びます。



成人看護学 三浦 里織 准教授

医療を受ける患者の命を守る技術力と
つらさを捉える想像力を身につける

成人看護学は、さまざまな疾患と治療を受ける対象者のニーズを学び、対象に応じた確実で安全な医療技術を提供する基礎と、応用するための考え方を講義と技術演習を通して身につける科目です。演習では看護師役、治療を受ける当事者役を交替で行い、当事者の目線で考える視点を養います。



母性看護学 木村 千里 教授

いのちを育み、家族を丸ごと支える！

母性看護学は女性の生涯にわたる健康生活への支援を学びます。妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における母子や家族の発達課題や健康問題だけでなく、女性の生涯を通しての性や生殖に関する健康的な生活を支えるための知識や技術を修得します。演習や実習では、近隣の母子支援施設において親子の支援を学習します。



保健師教育課程(科目名:公衆衛生看護学実習) 齊藤 恵美子 教授

保健師国家試験受験資格取得希望者が
履修する課程(選抜制)です

保健所・保健センターでの実習では、地域に暮らすさまざまな人々と触れ合いながら、人々の健康の維持・増進、健康障害の予防と回復を支えるための知識と技術を学びます。

助産学専攻科について

本専攻科は、看護師の免許を持った人が、助産師になるために必要な、知識と技術、心構えを身につける1年間のコースです。東京都立大学の看護学科からも、毎年、数名の学生が入学をします。学部から引き続き、同じキャンパスで学ぶことができます。助産師としての幅広い活動ができるよう、出産に関することだけでなく、思春期や、育児支援についても学ぶことが特徴です。

注：進学にあたっては、東京都立大学の学生も入学試験を受ける必要があります。

奨学金について

看護学科の学生は一定の条件のもと、東京都の「看護師等修学資金貸与制度」も利用可能です。
(→ P20「学生支援」のページ参照)

臨地実習

病院や地域の
さまざまな場所で
健康課題を持つ人々への
看護を実践的に学びます

教員は、学生がパフォーマンスを
最大限発揮して、充実した実習に
なるよう支援します。また実習前
に OSCE を実施し、健康課題を
持って生きている人々から真摯に
学ぶための準備を行っています。

	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次					基礎看護学実習Ⅰ				基礎看護学実習Ⅱ			
3年次				成人看護学実習Ⅰ			成人Ⅱ・母性・小児・高齢者・精神・在宅看護学実習					
4年次	総合臨地看護学実習		看護管理学実習		公衆衛生看護学実習							

* OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床能力試験)
* 公衆衛生看護学実習 : 保健師教育課程履修者のみ

● 実習先一覧

基礎看護学領域	東京都立駒込病院、東京都立多摩総合医療センター
母性看護学領域	東京都立大塚病院、立川相互病院、東京都立豊島病院、日産厚生会玉川病院、榎原記念病院、日本医科大学付属病院、東京都内および神奈川県内助産院、東京都内および埼玉県の子育てサロン
小児看護学領域	荒川区立保育所、東京都立小児総合医療センター、心身障害児総合医療療育センター
成人看護学領域	東京都立駒込病院、国立国際医療センター、関東中央病院、東京都立墨東病院、東京都リハビリテーション病院、東京都立東部地域病院
高齢者看護学領域	杏林大学医学部付属杉並病院、東京都済生会向島病院、東京都健康長寿医療センター、花と森の東京病院、平成立石病院、令和あらかわ病院、日本医科大学病院
精神看護学領域	東京都立松沢病院、長谷川病院、吉祥寺病院、訪問看護ステーションWing、東京都立中部総合精神保健福祉センター、かがやき会、東京ダルク、やどかりの里、エナジーハウス、九段坂病院
在宅看護学領域	東京都立神経病院、柳原病院、川崎幸病院、東京都立大塚病院、東京都立駒込病院、東京都内訪問看護ステーション
看護管理学領域	東京都立多摩総合医療センター、東京都立広尾病院、東京都立小児総合医療センター、東京都立駒込病院、東京都立墨東病院
公衆衛生看護学領域	足立区・荒川区・江戸川区内保健所・保健センター、荒川区・足立区内地域包括支援センター

● 実習中の1日の流れ(例)

※成人看護学領域

実習内容	
8:00	病院に集合、着替え
8:30	申し送り、病棟へ挨拶、行動計画発表
9:00	受け持ち患者のバイタルサイン測定、情報収集
10:00	看護ケアの準備、実施、片付け
11:30	指導者への午前の報告
12:00	昼食、休憩
13:00	情報収集、看護ケアの準備、実施、片付け
14:30	指導者へ午後の報告
15:00	学生カンファレンス
16:00	病棟へ挨拶、実習終了、着替え
16:30	解散

学生カンファレンスでは、教員や実習指導者の方と集まり、実習中に出てきたさまざまな悩みを話し合います。

在学生の声



看護学科2年
寺島 千幸さん
(2023年度現在)

将来は助産師として看護師として
多面的に地域社会に貢献したい

中学時代から助産師になるのが目標。看護師免許を取得したら、助産学専攻科に進みたいと考えています。妊婦さんが救急搬送されるケースもあるため、今は急性期や救急分野などにも興味・関心を広げ、命を預かる仕事の重みを感じながら、自覚と責任感をもって学んでいます。一方で手話サークルや保育所でのボランティアのほか、性教育の普及を推進するNPO団体でも活動しており、将来は総合病院で経験を積んだ後、医療だけではなく、福祉や教育といった幅広い視点で地域に寄り添う働き方をしていきたいです。

寺島さんの時間割

	月	火	水	木	金
1限		病態学			小児看護学概論
2限	医療英語b	看護疫学	精神看護学概論	地域看護学概論	
3限	ヘルスプロモーション看護論	医療支援技術論	急性期看護学概論	医療支援技術論	成人看護学演習
4限	高齢者看護学概論	医療支援技術論演習	家族発達看護学	医療支援技術論演習	
5限		ヘルスアセスメント論演習		ヘルスアセスメント論演習	

「医療支援技術論演習」をはじめ、現在は学内の演習形式で進める授業がいくつもあり、気心の知れた学生同士ですぐに間違いを指摘し合えるメリットを感じています。2年次後期からは医療機関での臨地実習が始まります。まずは患部の痛みや治療への不安など、患者さんのリアルな症状や気持ちを把握するためのコミュニケーション方法を磨くことが目標です。(取材時は2年次)